

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 9 日現在

機関番号：11301

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2014

課題番号：23530456

研究課題名(和文) アジアにおける非営利組織の次世代育成とリーダーシップ—社会関係資本の視点

研究課題名(英文) Next Generation Development and Leadership of NPO in Asia: From A Social Capital Perspective

研究代表者

西出 優子 (Nishide, Yuko)

東北大学・経済学研究科(研究院)・准教授

研究者番号：60451506

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,900,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の目的は、アジアにおけるNPOの次世代人材育成およびリーダーシップの実態を解明し、これらの促進・阻害要因を抽出し、社会関係資本(ソーシャル・キャピタル)との関係を解明することである。アジア7か国地域におけるNPOをとりまく制度や経営、人材育成について、文献調査やインタビュー調査等を通して実態を把握した。日本国内では、若者の人材育成やボランティア・インターンを受け入れているNPOや、参加学生の意識や行動変容プロセスについて、事例調査やアクションリサーチを実施した。これらから、アジアのNPOの人材育成の実態、促進・阻害要因や社会関係資本との関係を明らかにし、今後の示唆を提示した。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this research is to clarify the current state of the next generation development and leadership of NPOs in Asia and pick up facilitation and obstacle factors and their relationship with social capital. Current state was clarified on social system and management, and human resource development surrounding NPOs in 7 Asian countries and areas. In Japan, case studies and action research were conducted to find NPOs engaging in youth development, learning support of children and youth to bear future civil society, and NPOs accepting many young volunteers, interns and staff. Moreover, changes in the processes of consciousness of students through the experiences were studied. Moreover, through international comparison, current state of the next generation development of NPOs in Asia, factors to facilitate and obstacles, and its relationship with social capital were identified with several implications for the future development of NPOs in Asia.

研究分野：非営利組織論、ソーシャルキャピタル論

キーワード：NPO 次世代育成 人材マネジメント リーダーシップ ソーシャルキャピタル アジア 若者 信頼

1. 研究開始当初の背景

近年、世界的に多様な社会的課題に直面している中で、非営利組織(NPO)の活躍・発展が目覚ましい。しかしながら、中核となる職員の人材育成や後継者問題、リーダーシップなど、様々な人材マネジメントの課題を抱えている非営利組織も多い。これまで、NPOやその経営については、欧米を対象とした研究の蓄積はあるが、歴史や文化的背景の異なるアジアのNPO、特に人材育成やリーダーシップに関する研究は緒についたばかりである。そのため、これらの研究は非営利組織の持続的発展にとって喫緊の課題である。

このような中、先行研究をふまえ、アジアの非営利組織がその発展に伴い抱えはじめた次世代人材育成およびリーダーシップの課題について実証研究をもとに新たな理論構築を行い、非営利組織が新たな社会変革の担い手として発展することに学術的・実践的に寄与したいと考え、本研究の構想に至った。

2. 研究の目的

本研究の目的は、近年の発展が目覚ましいアジアにおけるNPOの次世代人材育成およびリーダーシップの実態を解明し、それらの促進・阻害要因を抽出し、信頼や規範、ネットワークなどの社会関係資本(ソーシャル・キャピタル)との関係を解明することである。具体的には、日本を含むアジアの非営利組織における次世代人材育成とリーダーシップの取り組みに関する実態調査および分析を行い、社会関係資本の構築法・活用法を探り、アジアにおける非営利組織の次世代人材育成とリーダーシップのあり方およびその開発手法について、欧米とは異なったアジア独自の文化や価値観をふまえた新たな理論的・実践的枠組みを提示することを目指している。

特に、日本を含めたアジア社会において古来より重視されてきた、信頼、絆、つながりの観点を取り入れることで、次世代人材育成および市民社会におけるリーダーの輩出が進み、非営利組織が社会変革の担い手としてさらなる発展を遂げ、より社会的影響力を発揮できるように学術的・実践的に寄与したい。

3. 研究の方法

アジアのNPOについては、中国、マレーシア、インドネシア、フィリピン、シンガポール、タイ、台湾の計7か国・地域におけるNPOを取り巻く社会制度や組織経営、人材管理、人材育成、リーダーシップの理論・実証研究について文献調査を行なった。さらに、これらの実態について、主に当該国出身の調査補助者らと連携協力し、文献調査・インタビュー調査を実施した。

日本国内では、NPOによる若者や次世代の人材育成やリーダーの取り組みに関するフィールドワーク、参与観察、文献調査を実施した。また、NPOでのボランティアやインタ

ーンシップを通じた次世代人材の成長プロセスの分析を、アクションリサーチの手法を用いて実施した。さらに、NPOが主催する事業への参加・積極的関与を通じた参加者の意識や行動変容についてソーシャル・キャピタルの視点からアンケート・インタビュー調査を実施した。さらに、海外や日本で活躍するNPOのリーダーらを招いた研究会・講演会・ワークショップの開催も国内外のNPO等とも連携しながら行なった。特に、震災復興に取り組む東北地方のNPOやこれらのNPOに関わる若者・学生を主な対象とした。

4. 研究成果

アジアにおける非営利組織の次世代育成およびリーダーシップ開発において、認知的・構造的、公式・非公式など、多様な形態の社会関係資本が、その配分や経路によって、人材育成・リーダーシップのあり方やその開発手法を様々な形で促進または阻害することが明らかになった。例えば、結束型の社会関係資本が多い組織では、組織に対する愛着や価値観の共有を促進するが、職員の自己開発を阻害する可能性がある。また、外に開かれた橋渡し型社会関係資本は、対外的交渉力を向上させるが、職員同士の絆を弱める可能性もある。さらに、介護福祉やまちづくりなど、非営利組織の活動分野によっても、人材育成やリーダーシップのあり方やその開発の促進・阻害要因の特徴は異なっている。そのため、非営利組織が自らの社会関係資本の評価を実施するなど、実践的な活用が期待されるとともに、豊かな社会関係資本を基盤とするアジアの非営利組織の今後の次世代人材育成・リーダーシップ開発に新たな価値を創出する学術的・実践的意義がある。

(1)日本を含めたアジアのNPOにおけるリーダーシップ、人材育成を含めた人材マネジメント、ソーシャル・キャピタルの役割、促進要因・阻害要因について新たな知見を得ることができた。アジアのNPOを取り巻く社会制度や組織経営の実態、若者の人材育成やこどもの学習支援に取り組むNPO、若者のボランティアやインターンを受け入れているNPO、これらNPOでのボランティア活動やインターンシップに参加した学生の意識や行動変容プロセス、NPOへの就職やキャリア、NPOでのボランティアやインターンシップを経験した学生の学びや成長等に関しても、現状や課題、今後の展望について示唆を得た。

(2)本研究の意義は、これまで欧米を中心に議論されてきたNPOの人材育成・マネジメントに関して、日本を含めたアジアを対象に、丁寧なヒアリング調査やアクションリサーチなどを通して、その実態や課題・展望について明らかにしたことにある。近年自然災害が多発しているアジア地域において、ソーシャル・キャピタル、相互扶助、共感を核とした地域づくり・心の復興をNPO・市民社会が推進していくにあたり、次世代育成と市民

力の底上げについて、有用な学術的・実践的な示唆を提示した。

(3) これらの成果を国内外の学会・研究会や論文・報告書等を通して幅広く発信した。また、以下の通り、国内外のNPOとも連携しながら、30の研究会・講演会を開催した。これらを通して、講師や参加者と議論を深めながら本調査研究を進めるとともに、一般にも公開し、成果の発信、普及啓発も積極的に幅広く行なった。さらに、これら本研究課題を通して開始した「NPO キャリア人材講演会」「国際NPO リーダーシップ講演会」「NPO 研究セミナー」シリーズは、今後も継続開催し、本研究課題のテーマについて、持続発展的にさらに探求を進めていく予定である。

〔開催研究会・講演会〕(計30件)

・NPO キャリア人材講演会

「第8回NPO キャリア人材講演会：まちづくりに取り組む都市デザインワークス」東北大学、2014年12月3日

「第7回NPO キャリア人材講演会：さなぶりファンデーションの取り組み」東北大学、2014年10月15日

「第6回NPO キャリア人材講演会：社会イノベーションを加速するプラットフォームづくり」東北大学、2014年5月21日

「第5回NPO キャリア人材講演会：組織を変える人材とは」東北大学、2013年7月1日

「第4回NPO キャリア人材講演会：ブランドハプスタンスとキャリアのつなげ方～いつの間にかにNPOの世界に入っちゃいました～」東北大学、2013年6月27日

「第3回NPO キャリア人材講演会：国際機関(IO)と非政府組織(NGO)に見るグローバル・ガバナンスの限界と可能性」東北大学、2013年6月20日

「第2回NPO キャリア人材講演会：国家公務員からNPO 職員へ～約5800分の1の見方、約40分の1の見方～」東北大学、2013年6月3日

「第1回NPO キャリア人材講演会：NGO・NPO のキャリアとリーダーシップ、企業・社会との関わり - オックスファム・ジャパンの事例 - 」東北大学、2013年5月23日

・国際NPO リーダーシップ講演会

「第8回国際NPO リーダーシップ講演会：The Ukraine Crisis: A Perspective of Non-Governmental Organizations: Tohoku University」, June 19, 2014. 東北大学、2014年6月19日

「第7回国際NPO リーダーシップ講演会：世界と共にある国際リーダーシップ グローバル・ガバナンスにおける非政府主体の展望」東北大学、2014年5月

28日

「第6回国際NPO リーダーシップ講演会：国際援助機関イスラエイドによる震災復興活動と人材育成の取り組み」東北大学、2013年12月4日

「第5回国際NPO リーダーシップ講演会：How to Govern the World? Global Governance and Emerging Countries - In Between Political Independence and Economic Interdependence」東北大学、2013年7月5日

「第4回国際NPO リーダーシップ講演会：国際機関(IO)と非政府組織(NGO)に見るグローバル・ガバナンスの限界と可能性」東北大学、2013年6月19日

「第3回国際NPO リーダーシップ講演会：NGO・NPO のキャリアと企業・社会との関係」東北大学、2013年5月22日

「第2回国際NPO リーダーシップ講演会：NPO の多様性と国際リーダーシップ」東北大学、2012年7月11日

「第1回国際NPO リーダーシップ講演会：Uniting The Different - 国際社会におけるNPO の活躍」東北大学、2012年7月4日

・NPO 研究セミナー

「第6回NPO 研究セミナー」東北大学、2015年1月14日

「第5回NPO 研究セミナー」東北大学、2015年1月7日

「第4回NPO 研究セミナー」東北大学、2014年1月15日

「第3回NPO 研究セミナー」東北大学、2014年1月8日

「第2回NPO 研究セミナー」東北大学、2013年7月10日

「第1回NPO 研究セミナー」東北大学、2013年7月8日

・その他

「日米大学 市民活動・社会イノベーションワークショップ」東北大学、2014年7月10日(東北大学大学院経済学研究科・経済学部・Innovations in Civic Participation/TOMODACHI Initiative 主催、非営利組織論ゼミナール企画・運営)

「被災地でのパートナーシップ」せんだいメディアテーク・市民活動サポートセンター主催「考えるテーブル 支援のかたち」2013年12月(非営利組織論ゼミナール調査・企画運営・協力)

「特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPO センター第15回通常総会記念シンポジウム『これからの宮城を創る地域公共人材とは』(パネリスト)」2013年9月15日

「第3回アショカフェロー・スピーカーシリーズ：障害と豊かな人生」東北大学、

2012年11月7日(一般社団法人アショカ・ジャパン主催、地域イノベーション研究センター・非営利組織論ゼミナール共催)

「アショカ東北ユースベンチャー・プログラム 説明会+ワークショップ」東北大学、2012年10月9日(一般社団法人アショカ・ジャパン主催、西出研究室共催)

「アショカ東北ユースベンチャー・プログラム ワークショップ」東北大学、2012年5月21日(一般社団法人アショカ・ジャパン主催、西出基礎ゼミ共催)

「震災復興ボランティア講座第三回:仲間と語る、震災ボランティア」東北大学、2011年7月13日

「震災復興ボランティア講座第一回:今からできる、震災ボランティア」東北大学、2011年7月6日

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計2件)

Ahn, Michael, Nishide, Junro and Nishide, Yuko, Public Administration Education in America: A Case Study of Quality, Strength, and Challenges 『大学評価研究』第12号, pp.95-120, 2013年6月.(査読有)(研究ノート)

西出優子「NPOのアカウンタビリティ - 宮城県内 NPO 法人事業報告書調査より - 」『地域創造研究~NPO支援から地域創造へ~』vol.1, pp.40-44, 2011年9月(査読無)

[学会発表](計9件)

西出優子・中尾公一・渡辺翔太「東日本大震災後の取り組み - 2012年度東北三県 NPO 法人事業報告書調査より - 」日本 NPO 学会第 17 回年次大会、武蔵大学、東京都練馬区、2015年3月14日

菊池遼・西出優子「非営利組織のミッションに関する世代間継承」日本 NPO 学会第 17 回年次大会、武蔵大学、東京都練馬区、2015年3月14日

西出優子・本山敬祐・坂上英和・渡辺翔太「復興に向かう NPO の被災と支援活動 宮城県・福島県の NPO 法人事業報告書調査より」日本 NPO 学会第 16 回年次大会、関西大学、兵庫県西宮市、2014年3月16日

Nishide, Yuko, and Nishide, Junro, Next Generation Leader Development of the Third Sector Organizations, Eighth ISTR Asia Pacific Regional Conference, Kim Koo Museum and Library, Seoul, Korea, 24-26 October 2013.

Nishide, Yuko, and Nishide, Junro, How

has value and action of youth for contribution to social change shifted after the disaster experience?, Northeast Conference on Public Administration, University of Delaware, Delaware, U.S., November 1-2, 2013.

西出優子「NPO 法人の被災・支援状況 - NPO 法人事業報告書調査より - 」日本 NPO 学会第 5 回震災特別フォーラム, 東北大学, 宮城県仙台市、2013年9月14日

西出優子「震災後のボランティアと NPO 活動」日本 NPO 学会市民社会研究フォーラム、キャンパスイノベーションセンター、東京都港区、2013年5月11日

Nishide, Yuko, and Nishide, Junro, Transformation of Social Leaders in Japan: In the Face of Two Natural Disasters, poster presented at the American Society for Public Administration, Hilton Riverside, New Orleans, U.S., March 17, 2013.

Ahn, Michael, Nishide, Junro, and Nishide, Yuko, A Comparative Study of Public Administration and Policy Education in America and Japan, poster presented at the American Society for Public Administration, Flamingo Hotel, Las Vegas, U.S., March 5, 2012.

[図書](計11件)

西出優子編『NPOの理論と実践』第7号、東北大学大学院経済学研究科西出研究室、pp.1-253、2015年3月

西出優子編『アジアにおける NPO の人材育成とリーダーシップ - ソーシャル・キャピタルの視点』東北大学大学院経済学研究科西出研究室、pp.1-158、2015年3月

西出優子・渡辺翔太編『NPOの理論と実践』第6号、東北大学大学院経済学研究科西出研究室、pp.1-164、2014年3月

西出優子・中尾公一「災害ボランティア」山内直人・田中敬文・奥山尚子編『NPO 白書 2013』、大阪大学 NPO 研究情報センター、pp.48-56、2013年3月

西出優子・醍醐賢輔編『社会を変革する NPO のリーダーシップ - グローカルな視点 - 』、東北大学大学院経済学研究科西出研究室、pp.1-49、2013年3月

西出優子編『社会を変革する NPO のリーダーシップ - 震災復興のアイデア - 』東北大学大学院経済学研究科西出研究室、pp.1-55、2013年3月

西出優子・神田航平・内藤聡崇編『NPOの理論と実践』第5号、東北大学大学院経済学研究科西出研究室、pp.1-195、2013年3月

西出優子・佐藤翔編『NPO・ボランティア活動を通じた学生の学びと成長』東北

大学大学院経済学研究科西出研究室、pp.1-46、2013年3月
西出優子・安井寛樹編『アジアのNPOとその社会的役割』東北大学大学院経済学研究科西出研究室、pp.1-38、2013年3月
西出優子・佐藤裕介編『NPOの理論と実践 - せんだいのフィールドより - 第4号』東北大学大学院経済学研究科西出研究室、pp.1-264、2012年3月
西出優子監修・小林主茂編『震災復興ボランティア入門講座報告書 - 今日を創る、明日を変える、ボランティアのチカラ』東北大学大学院経済学研究科西出研究室、pp.1-37、2011年10月

〔その他〕

ホームページ等

<http://www.econ.tohoku.ac.jp/~ynishide/toppage.html>

<http://www.econ.tohoku.ac.jp/~ynishide/study.html>

<https://ja-jp.facebook.com/nishideseminar>

参考(総説・インタビュー等記事)(8件):

「サービスマーケティングが地域社会にもたらすものとは?!」『特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター ニュースレター みんな』Vol.96、pp.2-3、2014年11月号(インタビュー内容掲載)

「クロスセクター：協働の強化書 2013プロジェクト 震災後の「協働」の知見の蓄積に向けた、NPOと大学の協働」『特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター事務局通信みんな』Vol.92、p.2、2014年3月(西出ゼミとの協働プロジェクト掲載)

「協働のまちづくり SENDAI: 支援のかたち 被災地でのパートナーシップ」『仙台市市民活動サポートセンター通信ぱれっと』No.173、pp.2-3、2014年1月(西出ゼミとの協働プロジェクト掲載)

「LABORATORY STATION: 人と人との繋がり」『東北大学生協ニュース』通巻 663号、p.9、2014年1月

「特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター第15回通常総会記念シンポジウム『これからの宮城を創る地域公共人材とは』」(パネル発言内容記載) 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターニュースレター、pp.2-4、2013年11月。

「教員からのメッセージ: ボランティア活動へのいざない」『Volunteer Seminar Journal』Vol.4 2013 Spring, p.7. 東北大学東日本大震災学生ボランティア支援室、2013年4月

「理事オピニオン: 東北の未来を担う人

材育成 - 若者を育む NPO と大学の役割 - 』『特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター メルマガ「みんな通信」』pp.2-3、2012年10月号

「星: 自著を語る『SOCIAL CAPITAL AND CIVIL SOCIETY IN JAPAN』」『東北大学出版会会報宙』第25号、pp.1-2、2011年8月

6. 研究組織

(1) 研究代表者

西出 優子 (NISHIDE, Yuko)

東北大学・大学院経済学研究科・准教授

研究者番号: 60451506

(2) 研究分担者

()

研究者番号:

(3) 連携研究者

()

研究者番号:

(4) 研究協力者

プアングーオ、ケーヴァリン

(PUANGYOYKEAW, Kevalin)

東北大学・大学院経済学研究科

中尾 公一 (NAKAO, Koichi)

東北大学・大学院経済学研究科

菊池 遼 (KIKUCHI, Ryo)

東北大学・大学院経済学研究科

渡辺 翔太 (WATANABE, Shota)

東北大学・大学院経済学研究科

陳晨 (CHEN, Chen)

元東北大学・大学院経済学研究科

陳麗華 (CHEN, Lihua)

元東北大学・大学院経済学研究科